Creative Enzymes®

ネイティブ バークホルデリア属 リポタンパク質リパーゼ

Cat. No. NATE-0417

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	リポタンパク質リパーゼ（LPL）は、グリセロールエステル加水分解酵素です。LPLを生成するいくつかの細菌は、シュードモナス属、セラチア属、ムコール属に属します。リポタンパク質リパーゼは、血漿リポタンパク質中のトリグリセリドを加水分解し、筋肉や脂肪組織での代謝目的のために脂肪酸を放出します。
用途	リポタンパク質リパーゼは、大腸癌における脂肪生成酵素の役割を評価する研究に使用されました。また、ラットにおける低分子量ヘパリンのリパセミック活性を調□する研究にも使用されました。
別名	リポタンパク質リパーゼ; クリアリングファクターリパーゼ; ジグリセリドリパーゼ; ジアシルグリセロールリパーゼ; ポストヘパリンエステラーゼ; ジグリセリドリパーゼ; ポストヘパリンリパーゼ; ジアシルグリセロールヒドロラーゼ; リピーミアクリアリングファクター; EC 3.1.1.34; 9004-02-8; LPL

製品情報

由来	バークホルデリア属
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.1.34
CAS登□番号	9004-02-8
活性	> 50,000 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、p-nitrophenyl butyrateを基質として使用し、37°CでpH 7.2の条件下で1分あたり1.0 nmoleのp-nitrophenolを放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C